

3.「玉切り」前ページ図も参照。

《ロックの掛け方》右図は握った状態でロックを掛ける。
イメージとしては、右手（リアハンドル）を下げることで
ブレーキレバーが左手甲にぶつかりブレーキがかかる
という流れ。つまり両手を使った操作です。

写真は左手首を不自然に前屈し
ていて良くない例↓



4.受け口の作り方.伐倒方向

受け口：45°の角度で斜め切りして水平切り。

水平切りしてから斜め切り。

どちらからでも良い。それぞれに特徴あり。

- * 受け口は微調整を考え 1/4 を目安とし 1/3 以内に完成させる。

会合線：会合線は伐倒目標に直交した一本の直線に。
(切り口の三角形は受け口の開口部)

- * チェーンソーの回転は低速で微調整

* 伐倒方向

チェーンソーのガンマーク線と伐倒目標を直視。

右写真は態勢を整え、方向を確認 →

チェーンソーを右ひざに添えて安定させる、



追い口：受け口高さの 2/3 を基本、水平に切り込む

ツル： 樹径の 1/10 が基本。但し、樹径が 20 cm 以下は 2 cm とする

- * 水平伐り時はチェーンソーのスロットルレバーは右親指で操作
斜め切りの最初（右上の写真）も親指でスロットル操作します。

5.ヒノキ立木伐倒「樹高約 20m 胸径約 22 cm」(実技) ↘

《伐倒前に安全確認を！》

- ・上方「枝がらみ.枯れ枝」
- ・周囲「不用意に人が？安全距離」
- ・前方「伐倒方向の安全」
- ・足元「突起物.岩.支障灌木」
- ・避難場所「安全な場所（木の陰）」

* 今回の対象木は枝がらみがあり、掛り木が予測される為、
チルホールでの伐倒を実施。

* 事前にロープ掛け、滑車、チルホールを設置し準備。

* 対象木は朽ちた部位があり、胸高の位置で受け口を作る。

* 笛(呼子)合図 受け口作業開始：1回（ピー）
 追い口作業前：2回（ピー．ピー）
 伐倒完了後：3回（ピー．ピー．ピー）

《伐倒後》：使用したロープを速やかに撤去。

* ロープを撤去後、枝払い、玉切り。

* ロープの切断事故多し！！

ロープワーク：二重もやい結び。

～強度、緩めやすさに富む～

